

第14号 NPO 法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク Newsletter 2017（平成 29）年 12月 5日 発行



のばす会・ネットワーク便り

本部事務局 〒475-0817 愛知県半田市東洋町 1-8 アイプラザ半田 109, 110 号室

☎ 080-1622-5717

🌐 <http://www.f-school.jp/nobasukai>

🌐 <http://f-school.jp/nobasukai/>

📝 <http://blog.canpan.info/nobasukai/>

📘 <https://www.facebook.com/nobasukai>

代表理事 赤松 由隆



デンソーグループハートフルまつり

こどもの未来館

～より良い未来を次世代へ～

9月24日(日)



デンソーハートフルまつり

スタッフ村瀬 明子

「デンソーハートフルまつり」に参加しました。この祭りは、刈谷市にある（株）デンソーが社会貢献活動として毎年開催しているものです。地域で活躍している NPO 法人の紹介と支援を広める場を提供してくれるものです。のばす会は、今年で 3 回目の参加です。

今年は、のばす会での一年を紹介するパネルを掲示しました。また、生徒が中心になって折り紙体験コーナーをしました。ディズニーのミッキーとミニ、チップとデールが人気で、小さな子どもたちが、のばす会のブースに立ち寄ってくれました。お母さん方の手作り手芸品も展示即売しました。これらの売上金は、のばす会の活動資金となります。ご協力してくださった方々に心から感謝申し上げます。他の市町村の方から、「自分の地域でもフリースクールを立ち上げたいと思っている。」と声をかけていただくこともありました。会場いっぱいに広がるブース。のばす会以外にこんなにも NPO 法人が数多くあったのかと驚きました。いろいろな生き方、いろいろな人々、いろいろな選択が人生にはある。…と勇気づけられた一日でした。

デンソーハートフルまつりに参加して

親の会 鈴木知代

私は今回ハートフルまつりの出展のお手伝いをさせていただきました。私たち「のばす会」のブースでは手作りの布かばん、アクセサリ、ビーズのブローチ等を販売したり、のばす会のパンフレットやネットワーク便りで PR をしました。子供さん向けにディズニーキャラクターを折り紙で作れる体験コーナーはとても人気でお手伝いの生徒が先生として大活躍でしたよ。

メインステージでは、フラダンスや元オリンピックランナーの松野明美さんの講演会などがあり、心に残るお話も聞くことができました。

今年のテーマは「デンソーこども未来館～より良い未来を次世代へ～」ということで、さまざまな体験学習ができるブースや、映画上映もありました。のばす会の先生方と一日楽しく参加させていただき、多くのボランティア団体があることを知り、いろんな形の社会貢献があると勉強にもなりました。毎年開催されているようなので、ぜひ来年はみなさんにも来場していただきたいイベントです。貴重な体験をありがとうございました。

第2回不登校で悩む親のためのお助け講座（要約）

「私たちはどう不登校と向き合うか？～支えられる大切さ～」

臨床心理士 米村 高穂



不登校を体験された方のお話を伺っていると、内心「学校に行かなきゃ、でも行けない」「親には申し訳ない」という気持ちを持っていることが多くあります。

不登校を乗り越えるのに、親が頑張ってくれたり、教師の配慮があったり、友達の声掛けがあったりして“自分はこれでいいんだ”と思えることで、学校に行けるようになることもあります。

思春期は、“親（大人）の思う通り動かない”のが前提です。それは、反抗期という“自立”の一步だからです。一種の自己主張ですね。それは“自分を持っている”からこそできることです。その反面、不登校の心理の特徴として断れない、無理なことを引き受けオーバーワークになりやすいことが挙げられます。また、

大人からの価値観だけで、決めつけでものを言うことも気を付けなければいけません。「確かにそういう考えもあるね」と尊重する言葉がけが大切です。

不登校の子が、大人側からの頼み事などを断ったり、愚痴を言うなど一見ネガティブに見える言動も、自己主張ができるようになったと考えれば、“成長”と言えるでしょう。

すでに不登校を卒業された方には、「あの時の経験があったから・・・」と不登校を宝にする覚悟が必要だと思います。また、今悩んでいる親御さんに“一人ひとり違う”のだから、自分の方法論や価値観を押しつけず、原因探しもほどほどにして、話せる「仲間作り」をして人生を楽しむことも大切です。『完璧な親』はいない、子どもと一緒に成長することが大切です。」

第3回不登校で悩む親のためのお助け講座（要約）

「第22回 登校拒否・不登校問題 全国のつどい in 東京」の報告会

親の会 松原美香

私はこの度のばす会から、不登校のつどい・東京大会に参加させて頂き、私の子育て中に出会った2人の男の子をきっかけに、非行について学んできました。2日間の話し合いの中で、多くの父母の経験を聞くことが出来、結果、ひきこもりと非行は、“逆”なんだなという事と、ひきこもりの子にも非行に走る子にも共通して、その子の居場所を作っておく必要があるんだとわかりました。

なぜ、ひきこもりと非行は逆かと申しますと、外に居場所が無くなった子達は家にひきこもり、家に居場所を失った子達は、外で悪さをするからです。ただそれだけなんだと、そして、その中に悪い子なんて、ひとりもないという事です。

疲れた時は身体を休ませるなんて、誰でもあたりまえですよ。そのためには、休める居場所が必要であり、改めて、居場所の大切さを知りました。

今の世の中は、子ども達がまるで高速道路を走っているようです。皆同じ方向に、前だけを見つめて走っています。けどもし、疲れてトイレに行きたくなったり、喉が渇いたりしたら、ドライブインに入りますよね。

まさにそれが、不登校なんです。そして、エネルギーを蓄えたら必ず、子どもたちは動き出します。私はそれを信じて、ずーっと見守っていてあげたいです。



フリースクールは今

二学期に入り畑の草取りをして野菜の苗（白菜、キャベツ、ブロッコリー）やジャガイモを植えて大根とニンジンの種をまきました。大きくなったらランチ作りをして食べたいと思います。体育館のアリーナは3月まで修理のため使えず体育室で卓球やダンスをやっています。

10月は半田運動公園で遊んだりバーベキューをやりました。マシュマロ焼きは評判がよかったです。お楽しみ会では、卓球・百人一首・スピード・ジャンケン大会などスタッフも入り競います。ダンスもあります。勉強を頑張りはじめた子もあり、新しく参加した生徒にとっても忙しい二学期になりそうです。



半田運動公園にて



月1回のばす会でアニマルセラピー実施！！



アニマルセラピーをご存じですか？外国では獣医師からも推奨され教育や治療、更生など多岐にわたって動物たちが活躍しています。日本ではまだまだ駆け出しですが、私達はセラピードッグ3頭、そして心優しいボランティア犬、猫ちゃんと一緒に訪問活動をしています。犬や猫との関わりの中で皆さんの表情が輝き、言葉が生まれ、行動する様子はとても感動的です。人間と向き合うことが苦手でも、黙って寄り添ってくれる動物が傍らにいてくれるだけでいのちの温もり、その大切さや愛おしさを体感してゆきます。大人も子供も、障がいがあってもなくても、病気であっても、いのちは輝くことができると信じて活動しています。 アニマルセラピー 石川 薫

押してもダメなときは、「引く」のではなく「待つこと」が大切？

臨床心理士 米村高穂

皆さん、「押してもダメなら引く」という言葉を聞いたことがあると思います。これは、日常生活でうまくいかないことがあった時の「発想の転換」としてよく言われることです。特に使われやすいのは、対人関係の場面ではないでしょうか？例えば、学校を休んでいる子に学校へ行ってほしいのは、保護者の切なる願いです。もちろん善意でやっているわけですが、「学校へ行った方がいい」「どうしていけないの？」などと、まずは大人が「押す」わけです。しかし、大抵はうまくいかないことが多い。子どもは、内心悪気はないし、むしろ学校へ行かなきゃという思いは誰よりも強いことが多いので、大人に「押されると」、むしろ引いてしまいます。私は、「押す」こと自体が悪いとは思いません。しかし、相手との信頼関係ができていなかったり、子どもの心の「準備」ができていない時期は、「待つ」ことが大切ではないでしょうか？子どもが不登校ではなくなった保護者の方のお話を聴いていると、多くの方が、最も大切なこととして「待つこと」の重要性を指摘しています。とは言っても、「待つこと」は忍耐が要求されることですから、これも至難の業です。当然、焦りが出てきます。だからこそ、「機が熟すまで」支え合う関係が重要なのではないのでしょうか？

今後の予定と活動

パネルディスカッション「子どもたちは今」

半田市PTA 連絡協議会 教育懇談会

とき：12月9日(土) 13時30分から

ところ：アイプラザ半田 講堂

パネリスト：赤松代表 他



冬の寺子屋



とき：12月22日(金) 13:00~15:00

23日(土) 10:00~15:00 クリスマス会、映画際

25日(月) 10:00~15:00 読み聞かせ会

26日(火) 10:00~15:00 コマづくり

27日(水) 10:00~15:00 お楽しみ会

ところ：アイプラザ半田 110号室

不登校で悩む親のためのお助け講座

第4回 1月14日(日)「発達障害についての理解とその対応」サポートネットゆっか代表理事 井上 朋子

第5回 2月4日(日)「カウンセリングについて」 米村 高穂 臨床心理士

第6回 3月4日(日)「相談活動を振り返って」のばす会理事 伊藤 八千穂

会場：アイプラザ半田 講座(2F 研修室) 13時30分~15時

座談会(2F 第4会議室) 15時~17時

のばす会文化祭

とき：1月20日(土) 13時30分から

ところ：アイプラザ小ホール

卒業・進級を祝う会

とき：3月24日(土)

ところ：アイプラザ半田研修室



寄付者の皆さま

平成29年8月~

ご協力ありがとうございました。皆様の志が子どもたちの未来へとつながります。 順不同 敬称略

村上眞喜子、鈴木郁夫、大橋晴美、那須英夫、石井よし子、青木貴子、橋本恵理子、松原広明、矢吹勇治、竹内治枝、黒木伊津子、林羊歯代、足立香織、今井昌彦、佐々木恵子、新原由子、山内睦代、黒瀬育子、南孝子、黒瀬文江、藤田千晴、福地春生、渡辺和夫、稲垣美由紀、福地保、福地昌子、古川ルミ子、マエダ・モールド、柳橋健、かとう助産院、川田喬子、久米未祐、柴田嘉子、浜崎桂子、小野寺敏美、久野博子、塚田紀美代、新美洋子、森達雄、石黒辰彦、半田市主任児童委員部会

東海ろうきん寄付システムによる寄付者の皆さん

・引き続き寄付システムを利用してくださった方、ありがとうございました。

・新たに寄付された方 佐藤玲子

※教科書や文房具、コマ、菓子などの寄付もありがとうございました。

皆さんの寄付でのばす会は成り立っています。 ご支援ください

年会費・寄付金の振込先

年会費 2,000円 寄付金 1口 1,000円から

①知多信用金庫 美原支店 口座番号 普通 2074829

名義：子どもたちの生きる力をのばすネットワーク 会計 伊藤 敦

②東海労働金庫 半田支店 口座番号 普通 4500549

名義：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力をのばすネットワ-ク

③ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00810-9-154412

加入名：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力

☆名義名がそれぞれ違い、ご不便をおかけしますが、お間違えのないようにお願いします。

ボランティア募集中

のばす会では、次のような

①小・中学生と寄り添って

一緒に遊べる方

②得意なことを生かして活動できる方

③勉強を教えてくれる方

方々をボランティアスタッフとして募集しています。

下記連絡先までご連絡ください。

連絡先 080-1622-5717

赤松 由隆